

# 定例公安委員会の開催状況について

令和2年8月20日（木）に、第23回定例山形県公安委員会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

## 1 9月の行事予定

9月の行事予定について報告があった。

## 2 小国警察署留置施設の閉場について

小国警察署留置施設の閉場について報告があった。

### 委員のコメント

- 50年前に作ったもので施設的な不備もあるため、閉場については理解した。新型コロナウイルス対策が必要な時代であり、一人一室を確保しなければならず、留置担当官の確保も大変だと理解している。
- 委託留置先も確保されており、やむを得ない措置と思う。
- 施設の状況を考えれば長期間の留置は困難であろうし、他の施設に委託できるとすれば、そのように閉場を進めていただきたい。

## 3 商標法違反（東京オリンピック偽造金メダルの販売）事件の検挙について

東京オリンピックの偽造金メダルを販売したとして、商標法違反事件を検挙した旨の報告があった。

### 委員のコメント

- 警察署のサイバーパトロールと長期間の内偵によって検挙に結びつけたことを評価する。出張捜査に関しても、新型コロナウイルス対策への配慮もしながら行う必要がある、その労苦も理解する。
- 模造品は外国から輸入された品であり、今後も同様の犯罪があり得るので、サイバーパトロールを続けてほしい。
- 今回もサイバーパトロールが効果をあげており、今の時代はサイバー空間で様々な犯罪が行われていることから、継続して取締りを行ってほしい。

## 4 捜査員の能力向上等を図る派遣型研修の実施について

若手を中心とした捜査員の能力向上等を図るための、派遣型研修実施について報告があった。

### 委員のコメント

- 珍しい取組だが、良い案だと思う。世代間の捜査技術が継承されないと捜査力の低下を招くので、体験を通して捜査の正確性を学ぶ貴重な実習だと思う。
- 一箇所に集めて講習等を行う一般的な研修とは異なり、この研修は現場に派遣

して行うことになるので、実務に直結したユニークなものである。成果を大いに期待している。

- 研修ではあるが、ある意味、垣根を取り払った捜査とも言える。犯罪が減少していく中では経験値がものを言うと思うので、合同捜査的に他署と一緒に捜査を行うことが必要であると思う。是非、進めてほしい。

## 5 暴力団関係者らによる連続万引き事件の検挙について

本年4月以降に発生していた、暴力団関係者らによる連続万引き事件の検挙について報告があった。

### 委員のコメント

- 市民への危害が及ばないよう用意周到な準備を行い、抵抗を制圧して検挙したことを評価する。暴力団の勢力拡大のおそれもあり、適切な捜査であった。
- 暴力団犯罪に対して組織的に捜査を行い、一網打尽にする手法は良いトレーニングにもなる。これだけ苦労した大きな事件であれば、もう少し大きく報道されても良かったのではないか。
- 白昼堂々と万引きをする行為は、暴力団の勢力を誇示しているようにも見える。今回の検挙は、組織の勢力拡大を阻止したという意味もあるのではないか。多くの捜査員が関わったことで経験値の獲得にもなったと思う。